情報システム学科学生がLINE BOT AWARDSゲーム部門賞を受賞

LINE株式会社が主催する「LINE BOT AWARDS」のプレゼンテーション・審査を行うFINAL STAGEが2017年3月18日に行われ，メディア情報学部 情報システム学科の川﨑健司君（4年），石井翼君（3年），小野祐輔君（3年）からなるチーム451Labが作成した「OneNightWerewolf Bot」が，ゲーム部門賞を受賞しました．「LINE BOT AWARDS」は，LINEのchatbot開発促進およびユーザーへの普及を目的に開催されているものです．今年は国内外から815作品の応募があり，当日は最終候補24作品によるプレゼンテーションと審査が行われました．受賞作品は，心理戦ゲーム「人狼」の面白さを変えずに，少人数で手軽に遊べるようにしたワンナイト人狼のゲームの進行をすべて行ってくれるLINE Botです．

左から２人目から，川﨑健司君，石井翼君，小野祐輔君

関連リンク：
https：//botawards.line.me/ja/（大会のサイト）
https：//live.line.me/channels/355092（決勝生放送のアーカイブ）
http：//www.yc.tcu.ac.jp/~yokoi/OneNightWerewolfBot/（作者による関連情報提供）

メディア情報学部中村研究室および音楽団体PLAMが都筑多文化・青少年交流プラザ（愛称：つづきMYプラザ※）から感謝状の贈呈

これは，同プラザが2017年11月に開所10周年を迎えたことを機に，開所当初より協力してきたこれらの研究室・団体の活動を高く評価して行われたものです．具体的には，中村研究室では歴代の学生チームが5年以上にわたって，同プラザの独自ホームページ構築・情報発信支援を行っているほか，音楽団体PLAMも，継続して毎月1回，中学・高校生向けに音楽スタジオでの技術指導を行っています．

贈呈式では，林田育美館長より，「学生が代々入れ替わっていく中で，継続して支援してもらっている地域の施設は珍しく，市内でも貴重な事例として多くの注目を集めています」との挨拶がありました．また，贈呈式に立ち会った中村雅子メディア情報学部長，地域連携センタースタッフとの懇談では，今後さらに多様な地域連携を進めるべくと意見が交わされました．

※つづきMYプラザは，国際交流ラウンジ機能と青少年の地域活動拠点機能を併せもつ都筑区役所の公共施設です．

「幸せと経済と社会について考える読書会」開催

枝廣淳子教授が所長を務める幸せ経済社会研究所は，本学とPOZI（株式会社東急エージェンシープロミックス内）と共催で月1回読書会形式の勉強会を開催しています．毎回課題書を決め，「幸せ・経済・社会」をめぐる問題構造や先進事例について考え，真に幸せで持続可能な社会をつくるための学びと実践支援の場を提供しています．

今年は世界で最も幸せな人だと言われているリカール・マウチ氏の著書『Happiness幸福の探求』や世界的ベストセラーとなった『サピエンス全史』，人口推計とさまざまなデータをもとに日本の未来図を体系的に解き明かした『未来の年表』などを課題書に取り上げました．また，12月は「定常経済と“ないものはない”」をテーマに，枝廣教授が定常経済を地域で実践している事例を紹介．経済成長と定常経済についてディスカッションを行い，理解を深めました．参加者からは『経済成長が必要かどうかという問いをもう少し追求したい』『「幸せ」のあり方について考える機会を得た』との声が寄せられました．

メディア情報学部 大谷研究室が日本AI音楽学会設立イベントで AI体験コーナーを開設

2017年11月11，12日の両日，洗足学園音楽大学において開催された日本AI音楽学会設立イベントのひとつとして，メディア情報学部大谷研究室がAI体験コーナーを開設しました．同研究室で開発されたAIに基づく自動作曲システムや，ユーザ好みのチェック柄を作成するシステムを展示し，2日間で300名以上の方々にAI技術を体験していただきました．当日は洗足音大の学園祭も開催されており，AI技術や自動作曲に興味のある人，音楽が好きな人，洗足音大の学生や受験生，学園祭の催し物を楽しみに来た家族連れや子供たちなど，来場者の年齢や目的はさまざまで，説明担当の学生は来場者の興味に合わせた説明ができるよう努めました．親子で一緒に自動作曲やチェック柄の作成を楽しんだり，できた楽曲やチェック柄の感想を述べ合ったりする場面もたくさん見られ，AI体験コーナーは家族間のコミュニケーションを深めるきっかけにもなったようです．

情報処理学会第80回全国大会において 情報システム学科4年の亀田遼希君が学生奨励賞を授与

情報システム学科4年の亀田遼希君は，卒業研究で「列車運行ダイヤを考慮した鉄道乗りつぶしのための旅行プランの生成」というテーマに取り組みました．鉄道乗りつぶしとは，ある特定の鉄道路線の区間をすべて乗車することを目指して，まだ乗車していない鉄道の区間を乗車する鉄道趣味の1ジャンルです．鉄道ファンの乗りつぶし支援を目的として，指定された条件や時間の下でより長い距離を乗りつぶせる旅程を運行ダイヤに基づいて作成する手法を提案し，インタフェースにもさまざまな工夫を凝らしたシステム「忍者のりてつくん」を構築しました．本学鉄道研究部の部員やOBを被験者とする評価実験では，鉄道ファンならではの厳しい指摘を受ける部分もありましたが，システム全体として高評価を得ました．この研究成果を3月13 ～ 15日に開催された情報処理学会第80回全国大会において発表し，学生奨励賞を授与されました．

ISO学生委員会が横浜環境行動賞を受賞

平成29年11月12日に横浜市開港記念会館にて横浜環境行動賞「ヨコハマ3R夢」推進者表彰式が執り行われ，ISO学生委員会が横浜環境行動賞を受賞しました．ヨコハマ3R夢プランとは横浜市が進める計画で，3Rを推進し，その中でも特にゴミの発生抑制（リデュース）から温暖化対策とCO2削減を目指すものです．この賞は，環境行政の一層の発展と地域社会への定着を図ることを目的とし，地域でのリサイクル活動，分別指導，啓発活動など様々な環境行動により「ヨコハマ3R夢」の推進に功労のあった個人又は団体などを対象に表彰するものです．ISO学生委員会は，平成23年度より都筑区と共同で横浜3R夢プランを広報するためのビデオ作成や，地域の中学生に対する環境講座の開催などをおこなってきました．これらの取り組みが高く評価され，今回の受賞にいたりました．